

福井県の地球温暖化対策 当面の施策概要

現 状	課 题	基本方針	今年度の施策																																																				
<p>現状 (増加率は、H2→H20 を指す)</p> <p>○業務 [排出割合：13.2% 増加率：+58.0%]</p> <ul style="list-style-type: none"> 石油類の消費量が減少する一方、電力消費量が増加 大型小売店の増加に伴い、小売業の売り場面積が増加 <p>○産業 [排出割合：40.1% 増加率：△15.4%]</p> <ul style="list-style-type: none"> 石油類の消費量が減少する一方、電力消費量が増加 鉱工業の生産動向に伴うエネルギー消費量の増減が、排出量の増減に影響 <p>○家庭 [排出割合：13.3% 増加率：+28.6%]</p> <ul style="list-style-type: none"> 世帯数が増加 1世帯あたりの家電製品の所有数量が増加 <p>○運輸 [排出割合：19.6% 増加率：+14.9%]</p> <ul style="list-style-type: none"> 小型乗用車（5ナンバー）から軽自動車への乗換が進展 低公害車（HV、低燃費車等）が普及 自家用乗用車の年間平均走行距離が増加 <p>○再生可能エネルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> 本県における普及率は、都道府県別に比較すると低い 平成22年6月にAPECエネルギー大臣会合が本県で開催され、低炭素な街づくりへの県民機運が醸成された <p>○環境教育・県民運動</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭・運輸等、県民生活に密接な部門の排出量が増加 「LOVE・アース・ふくい」運動は普及啓発が中心 	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 業務部門の温室効果ガス排出量の増加率は主要4部門中トップであるため、業務部門の温室効果ガス削減が特に必要 <ul style="list-style-type: none"> 事業者・個人等による環境貢献意識の受け皿としての環境ふくいCO2削減貢献制度の拡充や、貢献制度への参加件数の増加が必要 環境・エネルギー分野は、高成長が期待される分野であるため、新たな成長の柱とすることが必要 <ul style="list-style-type: none"> 家庭への太陽光発電・省エネ設備の導入が必要 エネルギーを有効に利用するため、省エネ設備、創エネ設備、蓄エネルギー設備（例：蓄電池、EV）の普及が必要 多額の初期投資を低減する仕組みが必要 <ul style="list-style-type: none"> 福井県EV・PHV普及推進マスターplanに基づく、次世代自動車の普及が必要。目標：導入台数1,500台（H22～26） EV・PHVの購入を躊躇する要因（①車両価格が高額、②充電走行距離が短い、③充電時間が長い）の解決が必要 自動車から自転車・公共交通機関への乗り換えの推進が必要 <ul style="list-style-type: none"> 地産地消型の再生可能エネルギーの積極的な普及促進により、エネルギーの多様化を図り、基幹エネルギーとのベストミックスを実現することが必要 原子力だけでなく、再生可能エネルギーの集積でも全国のトップランナーとなるような街づくりを推進し、APEC「福井宣言」に謳われた低炭素型社会を実現することが必要 <ul style="list-style-type: none"> 「LOVE・アース・ふくい」県民運動を、意識付けから実践へとステップアップさせることが必要 県内各地での子供・大人等向け環境教育、環境教育に関する専門知識を有する指導者の育成が必要 	<p>基本方針</p> <p>1 低炭素型ビジネススタイルの実現</p> <p>2 低炭素型ライフスタイルへの転換</p> <p>3 エネルギーベストミックスと低炭素型社会の形成</p> <p>4 環境教育・県民運動の充実</p>	<p>今年度の施策</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>①オフィス・商業サービス部門等の省エネ化</td> <td style="width: 10%;">資料 1</td> </tr> <tr> <td>(1) 事業所の省エネルギー対策への支援</td> <td>資料 2</td> </tr> <tr> <td>(2) CO2削減量のバッティング（集約）によるクラウド化</td> <td></td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>②環境ふくいCO2削減貢献制度の充実</td> <td style="width: 10%;">資料 2</td> </tr> <tr> <td>(1) CO2削減量のバッティング（集約）によるクラウド化</td> <td>資料 3</td> </tr> <tr> <td>(2) CO2削減等の環境貢献活動への寄付文化の醸成</td> <td></td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>③環境・エネルギー関連産業の振興</td> <td style="width: 10%;">資料 4</td> </tr> <tr> <td>(1) 資源循環ビジネスの推進</td> <td>資料 5</td> </tr> <tr> <td>(2) 新「クールアース」環境・エネルギー産業化プロジェクトの推進</td> <td></td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>①CO2ゼロハウスの普及</td> <td style="width: 10%;">資料 6</td> </tr> <tr> <td>(1) 省エネ、創エネ設備の導入</td> <td>資料 2</td> </tr> <tr> <td>(2) CO2削減量のバッティング（集約）によるクラウド化</td> <td></td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>②EV・PHVの普及、充電インフラ基盤整備</td> <td style="width: 10%;">資料 7</td> </tr> <tr> <td>(1) 充電設備の計画的な整備</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2) 公用車への率先導入</td> <td></td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>③脱マイカー・自転車への乗り換え運動の強化</td> <td style="width: 10%;">資料 8</td> </tr> <tr> <td>(1) ストップ乗りすぎプロジェクトの推進</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2) クルマに頼り過ぎない社会の推進</td> <td></td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>①再生可能エネルギー等の導入促進</td> <td style="width: 10%;">資料 9</td> </tr> <tr> <td>(1) 太陽光・小水力発電普及、バイオマス資源の活用</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2) 再生可能エネルギー等関連技術開発、普及啓発</td> <td></td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>②低炭素の街づくり</td> <td style="width: 10%;">資料 10</td> </tr> <tr> <td>(1) 低炭素の街づくりの推進</td> <td></td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>①「LOVE・アース・ふくい」県民運動のステップアップ</td> <td style="width: 10%;">資料 11</td> </tr> <tr> <td>(1) 地球温暖化ストップ県民運動「LOVE・アース・ふくい」の強化</td> <td>資料 12</td> </tr> <tr> <td>(2) 幅広い世代を対象とした環境教育の実施、指導者の育成</td> <td></td> </tr> </table>	①オフィス・商業サービス部門等の省エネ化	資料 1	(1) 事業所の省エネルギー対策への支援	資料 2	(2) CO2削減量のバッティング（集約）によるクラウド化		②環境ふくいCO2削減貢献制度の充実	資料 2	(1) CO2削減量のバッティング（集約）によるクラウド化	資料 3	(2) CO2削減等の環境貢献活動への寄付文化の醸成		③環境・エネルギー関連産業の振興	資料 4	(1) 資源循環ビジネスの推進	資料 5	(2) 新「クールアース」環境・エネルギー産業化プロジェクトの推進		①CO2ゼロハウスの普及	資料 6	(1) 省エネ、創エネ設備の導入	資料 2	(2) CO2削減量のバッティング（集約）によるクラウド化		②EV・PHVの普及、充電インフラ基盤整備	資料 7	(1) 充電設備の計画的な整備		(2) 公用車への率先導入		③脱マイカー・自転車への乗り換え運動の強化	資料 8	(1) ストップ乗りすぎプロジェクトの推進		(2) クルマに頼り過ぎない社会の推進		①再生可能エネルギー等の導入促進	資料 9	(1) 太陽光・小水力発電普及、バイオマス資源の活用		(2) 再生可能エネルギー等関連技術開発、普及啓発		②低炭素の街づくり	資料 10	(1) 低炭素の街づくりの推進		①「LOVE・アース・ふくい」県民運動のステップアップ	資料 11	(1) 地球温暖化ストップ県民運動「LOVE・アース・ふくい」の強化	資料 12	(2) 幅広い世代を対象とした環境教育の実施、指導者の育成	
①オフィス・商業サービス部門等の省エネ化	資料 1																																																						
(1) 事業所の省エネルギー対策への支援	資料 2																																																						
(2) CO2削減量のバッティング（集約）によるクラウド化																																																							
②環境ふくいCO2削減貢献制度の充実	資料 2																																																						
(1) CO2削減量のバッティング（集約）によるクラウド化	資料 3																																																						
(2) CO2削減等の環境貢献活動への寄付文化の醸成																																																							
③環境・エネルギー関連産業の振興	資料 4																																																						
(1) 資源循環ビジネスの推進	資料 5																																																						
(2) 新「クールアース」環境・エネルギー産業化プロジェクトの推進																																																							
①CO2ゼロハウスの普及	資料 6																																																						
(1) 省エネ、創エネ設備の導入	資料 2																																																						
(2) CO2削減量のバッティング（集約）によるクラウド化																																																							
②EV・PHVの普及、充電インフラ基盤整備	資料 7																																																						
(1) 充電設備の計画的な整備																																																							
(2) 公用車への率先導入																																																							
③脱マイカー・自転車への乗り換え運動の強化	資料 8																																																						
(1) ストップ乗りすぎプロジェクトの推進																																																							
(2) クルマに頼り過ぎない社会の推進																																																							
①再生可能エネルギー等の導入促進	資料 9																																																						
(1) 太陽光・小水力発電普及、バイオマス資源の活用																																																							
(2) 再生可能エネルギー等関連技術開発、普及啓発																																																							
②低炭素の街づくり	資料 10																																																						
(1) 低炭素の街づくりの推進																																																							
①「LOVE・アース・ふくい」県民運動のステップアップ	資料 11																																																						
(1) 地球温暖化ストップ県民運動「LOVE・アース・ふくい」の強化	資料 12																																																						
(2) 幅広い世代を対象とした環境教育の実施、指導者の育成																																																							

事業所の省エネルギー対策への支援

資料 1

目的

事業者が行う省エネルギー対策を支援し、オフィス等でのCO₂排出削減を強化

○業務部門からのCO₂排出量の増加 58.0%増 (H2→H20)

施策内容

平成23年度事業費 1億円

「民間事業所省エネ化推進事業」を創設し、中小規模事業者が行うオフィス等の省エネルギー対策を支援

・事業所の複合または一体的な省エネ化工事に対し、1／3（上限1千万円）を補助

・平成22年度に省エネルギー対策を実施した事業者（8事業者）

　製造業 1件、小売業 5件、旅館業 2件、事業所 1件

・事業実施により削減できる温室効果ガス排出量

397.31 t-CO₂/年

・補助事業に対する実施事業者の意見・感想等

　作業環境の改善により作業能率が飛躍的に向上したので、別の施設の改修も考えたい

　こまめなON、OFFが可能になったことで想定以上の省エネ効果が出た

　従業員の省エネ意識が高くなり、自発的な節電行動が現れた

CO₂削減量のバンドリング(集約)およびクレジット化

資料 2

目的

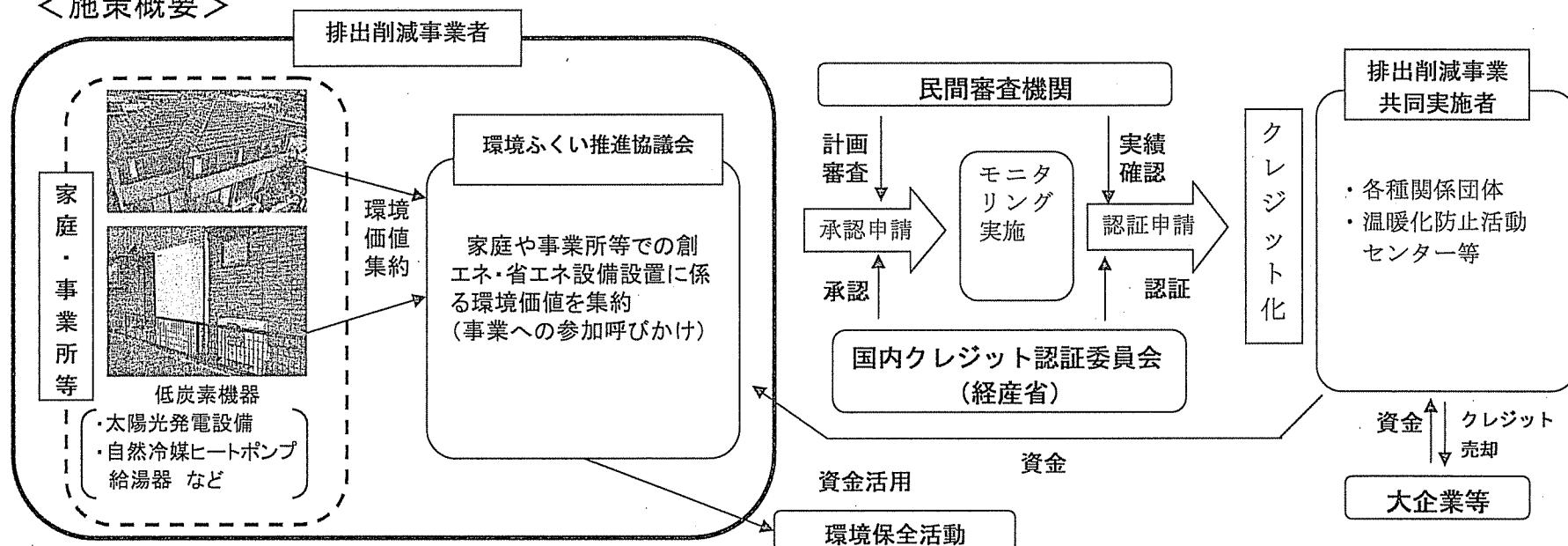
家庭・事業所等で導入された(される)低炭素機器から生まれる「環境価値」のクレジット化を図り、省エネ設備導入・環境貢献意識の向上と、県内のCO₂削減活動等を拡大

- 家庭部門でのCO₂排出量の増加 29% (H2→H20)
- 業務部門でのCO₂排出量の増加 58% (H2→H20)

施策内容

- 家庭や事業所等において設置された(される)太陽光発電設備等による温室効果ガス削減量をバンドリング(集約)し、国内クレジット制度を通して、取引が可能なようクレジット化
- クレジットの売却益で、県内のCO₂削減活動や生物多様性保全活動などを支援

<施策概要>



CO2削減等の環境貢献活動への寄付文化の醸成

資料 3

目的

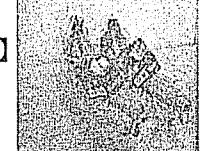
県民や団体等の行うCO2削減や生物多様性保全等の環境貢献活動を促進する「ふくい環境貢献活動支援事業」のレベルアップを図るため、寄付方法の多様化や寄付者のメリットの向上を通して、環境貢献活動への寄付を行う文化、意識の醸成、定着を図る。

施策内容

○地球温暖化防止、生物多様性保全活動への寄付機能付き自動販売機の普及

- ・環境ふくい推進協議会に参加する企業や関連団体等における設置を働きかけ

○売上の一部を環境貢献活動に寄付する商品等の拡大

これまでの商品例	アサヒスーパードライ 【アサヒビール(株)】 	恐竜バナナ 【福井青果(株)】 	ボージョレ・ヌーヴォー 【(株)ヤスブン】 	「お江ちゃん“愛”」 定期積金 【福井信用金庫】 
	「うまい！を明日へ！」プロジェクトの期間中に販売された缶(350ml、500ml)、中びん・大びん1本につき1円を寄付	県内の食品スーパー等で販売中恐竜バナナの販売1パックにつき1円を寄付	ヤスブン各店舗で販売1本につき10円を寄付	合併10周年を記念して、定期積金を販売契約額の0.02%を寄付

資源循環ビジネスの推進

資料 4

目的

廃棄物の排出事業者やリサイクル事業者等を結び付け、廃棄物を原材料として商品化を行う「事業化されたリサイクルループ」を構築

施策内容

平成23年度事業費 200万円

○排出者や処理事業者、試験研究機関など産学官が一体となって、具体的なリサイクルの可能性や課題の調査、研究等を実施

○新たなリサイクル事業や製品の研究開発等を進めていく分野

- ①食品廃棄物のたい肥化
- ②廃瓦の有効活用
- ③廃小型家電からの希少金属の回収
- ④纖維くず、廃プラスチックを利用した固形燃料(石炭等の代替燃料)

○「事業化されたリサイクルループ」の構築を支援するため「資源循環コーディネーター(仮称)」を配置

第1フェーズ(H22~)

- 「資源循環ビジネス推進協議会」の設置
- ・事業化に向けた課題の把握
- ・主要テーマの検討と選定

第2フェーズ

- 「テーマ別研究会」の設置
- ・具体的課題の把握、方向性の検討
- ・先進事例の調査研究

第3フェーズ

- リサイクル製品の研究・開発
- パイロット事業の実施

新「クールアース」環境・エネルギー産業化プロジェクトの推進

資料 5

福井県経済新戦略検討会議(平成22年12月)においてとりまとめられた「福井経済新戦略」のプロジェクトを着実に実施

平成23年度事業費 300万円

1 産学官による研究開発

- 福井クールアース・次世代技術産業化協議会を通じ、県外大手と誘致企業・地場企業を含む産学官研究開発を推進
- ふくい産学官共同研究拠点を活用して研究開発、実用化を加速
- エネルギー研究開発拠点化計画に基づく人材育成を進める大学等での拠点の整備

2 高度産業技術・研究人材育成

- 先進的技術開発をリードする即戦力となるポストドクターの誘致・定着
- 民間研究開発人材を県内に呼び込む修学資金貸付制度の創設などによる国際競争力の強化
- 企業内人材への先端技術の研修・再教育を進める人材育成拠点を整備
- 工業技術センターなどを中心として理科系人材育成のための中学生・高校生向け先端技術体験機会の提供
- エネルギー研究開発拠点化計画に基づく国際原子力人材の育成

3 事業化・産業化の促進

- 大手商社、研究開発型企業との戦略提携による事業化の推進
- 電力事業者とタイアップしたヒートポンプ関連のビジネス化促進
- レアメタルやレアアースなどの環境リサイクル企業の立地促進、国と連携したリサイクルシステムの形成による産業化の推進
- スマートコミュニティやクラウドコンピューティングの基盤となるデータセンターの集積化
- 大手企業を巻き込んだ試作品開発・量産化体制の整備

◆低炭素モ
デル都市
の発展
「嶺南エコ・
エネルギー
コリドール
総合特区」
の実現

◆環境・資
源リサイク
ル産業化
の推進

◆クリーン
エネル
ギー活用・
創出産業
化の推進

ゼロ・エミッショ
ン都市提案
産業の発展

住宅への省エネ・創エネ設備の導入

資料 6

目的

住宅における省エネルギー、創エネルギー設備の導入を支援し、家庭部門のCO₂排出量の削減と再生可能エネルギーの導入を促進

- 家庭部門からのCO₂排出量 14.9%増(H2→H20)
- 住宅用太陽光発電設備導入率 1.7% (H21 全国38位)

施策内容

平成23年度事業費 1.4億円

○省エネルギー・創エネルギー設備の導入支援

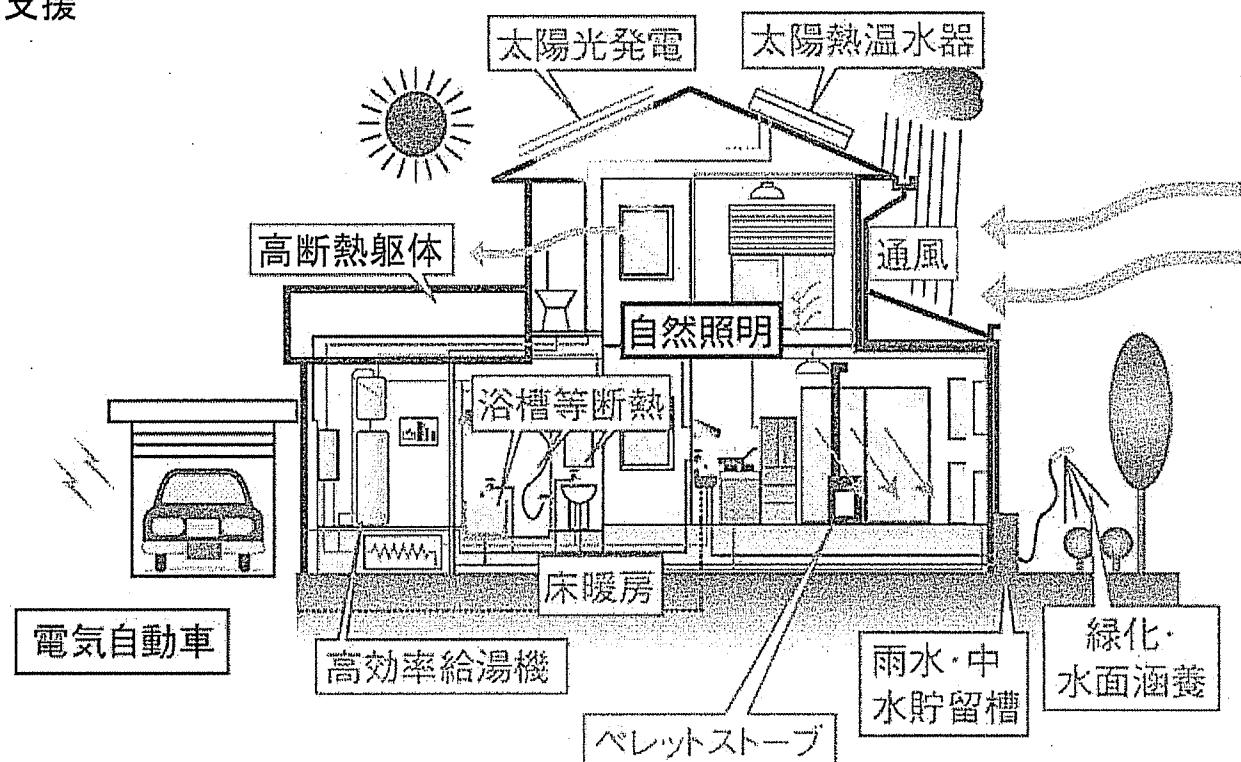
補助額

- ①太陽光発電36,000円/kW (上限4kW)
- ②省エネ設備工事費用の1割
(①②合計で上限20万円)

補助件数

- ①のみ 450件
- ①+② 400件
- 計 850件 ←H23に100件増

【CO₂ゼロハウスイメージ】



目的

電気自動車(EV)、プラグインハイブリッド車(PHV)の利用環境整備により導入を促進。
自動車からのCO₂排出量削減を強化

- EV普及の課題：走行距離が短い、充電時間が長い、車両価格が高額

施策内容

平成23年度事業費 2,900万円

1 充電設備の計画的な整備

○急速充電設備の整備

- ・EV利用者が、電池切れの不安なく走行できるよう、「バックアップ」用に、県内5地区に最低1か所ずつ整備

※嶺南西部地域はモデル的に低炭素の街づくりを進めるため重点的に整備を進める

○普通充電設備の整備

- ・買い物や観光などの時間を活用した「ついで充電」用として、店舗や観光施設などに整備
- ・充電設備を無料で開放する店舗を募集し、整備に係る経費を補助する制度を新設(30基程度)

2 公用車への率先導入

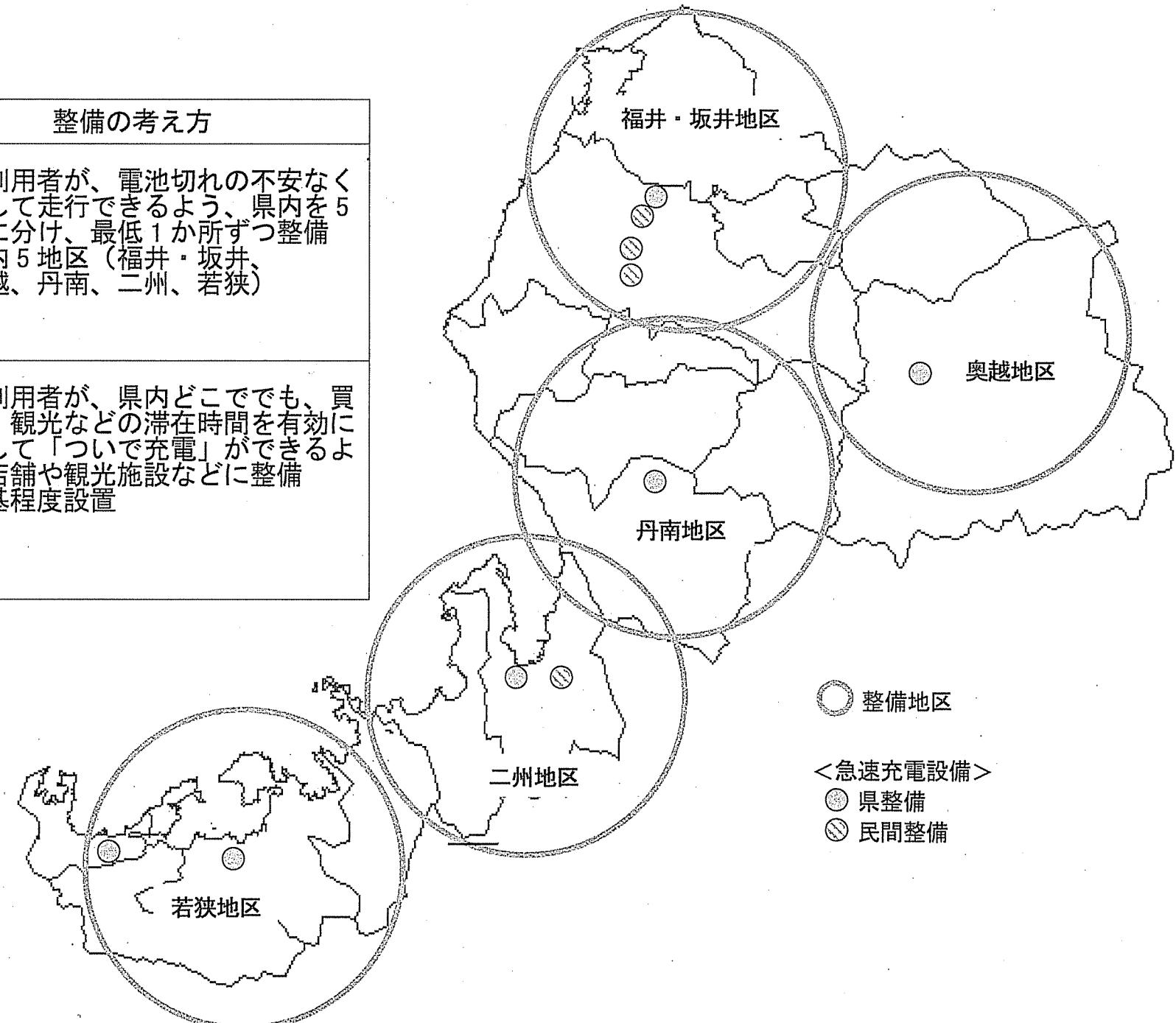
- ・県が率先して次世代自動車を各地域の出先機関へ導入(4台)

導入計画：平成23年度：3台(坂井、奥越、丹南地区の出先機関)

平成24年度：1台(二州地区の出先機関)

※EV5台(本庁3台、福井合同庁舎・若狭合同庁舎各1台)、PHV1台(本庁)を導入済み

	整備の考え方
急速充電設備	<ul style="list-style-type: none"> EV利用者が、電池切れの不安なく安心して走行できるよう、県内を5地区に分け、最低1か所ずつ整備 ※県内5地区（福井・坂井、奥越、丹南、二州、若狭）
普通充電設備	<ul style="list-style-type: none"> EV利用者が、県内どこでも、買い物、観光などの滞在時間を有効に活用して「ついで充電」ができるよう、店舗や観光施設などに整備 30基程度設置



脱マイカー・自転車への乗り換え運動の強化

資料 8

目的

過度の自動車利用から、公共交通機関や自転車など環境にやさしい交通手段への転換を推進

- 乗用車部門のCO₂排出量の増加 57.3%増 (H2→H20)
- 自家用乗用車の世帯当たり普及台数 1,749台/世帯 全国第1位 (平成22年3月)
- 1台当たりの年間走行距離(平成22年) 10,351km (全国平均 (平成18年度) より11.3%超過)

施策内容

平成23年度事業費 2,400万円

1 ストップ乗りすぎプロジェクトの推進

- イベント会場までの交通手段・イベント会場での移動手段として、みどりの自転車を活用した臨時の無料レンタサイクル拠点を最寄駅、臨時駐車場等に設置(イベント&サイクル)

ftbわんぱくフェア（平成23年5月3日～5日／美浜町総合運動公園）、越前陶芸まつり（平成23年5月28日～30日／越前陶芸村）、「ゆず」コンサート（平成23年8月13日／サンドーム福井） 等

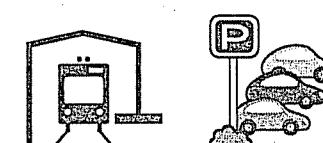
<イベント&サイクルのイメージ>



イベント会場



みどりの自転車



最寄駅、臨時駐車場等

- レンタサイクルやサイクリングコースに関する情報の提供

- ・福井県内のレンタサイクル実施拠点（48か所）の住所、電話番号、自転車台数、貸出し時間、料金等の情報を、県観光連盟と協力してweb上で一元的に提供
- ・みどりの自転車まちなかステーション（福井駅西口）において、手作りマップ等によりサイクリングコースの情報を発信

2 クルマに頼り過ぎない社会づくりの推進

- アクションプランの策定

- ・行政、企業、県民が連携して取組む行動指針を策定
- ・民間企業やNPO法人等が実施するパーク＆ライド等やコミュニティ・サイクルの導入支援
- ・「福井バイコロジスト」宣言者を募集し、「自転車で3キロ」運動を展開

目的

太陽光発電や中小水力発電、バイオマス熱利用など再生可能エネルギーの導入促進と、基幹エネルギーとのベストミックスを実現

【太陽光発電】 一般住宅への太陽光発電設備の普及が停滞、新築時の導入率は高いが既設住宅への導入は低水準
・導入率 1.70% 全国第38位 (全国 2.2%)

【小水力発電】 採算がとれる発電を行うためには、十分な水量と落差が必要

【バイオマス熱利用】 切り捨て間伐材等の林地残材は、年間約76000t発生しているが、木質バイオマスを燃料とするストーブやボイラーの普及が進まず、熱利用は限定(ペレットストーブ91台、木質バイオマス焚きボイラー23台)

施策内容

平成23年度事業費 1.6億円

1 太陽光発電の導入促進

○公共施設における再生可能エネルギー施設等の率先導入

- ・公共施設での率先導入を進め、有用性等の広報により、民間での導入意欲を喚起
低炭素の街づくりを実践する嶺南西部地域での整備支援(道の駅等における太陽光発電の整備)
奥越地区特別支援学校(仮称)のエコ化整備(太陽光発電等)

○住宅用太陽光発電設備の導入を支援

〈補助額〉

- | | |
|-----------------------------|-------------------|
| ①太陽光発電 36,000円/kW (上限4kW) | 〈補助件数〉 |
| ②省エネ設備工事費用の1割 (①②合計で上限20万円) | 450件 |
| | 400件 (H23から100件増) |

2 中小水力発電やバイオマス熱利用の導入促進

○農業用水等における小水力発電導入の検討

○木質バイオマス燃料の供給拡大に向けた体制整備と熱需要開拓の検討

概要

嶺南西部(高浜町・おおい町)に事業を集中・集積させ、地域住民がメリットを享受できる街づくりを推進

具体的な進め方

平成23年度事業費 1.4億円

○産学官で構成される「嶺南西部地域低炭素の街づくり推進協議会(仮称)」を設置

・事業実施者を中心に事業の具体化を進めるために設置

○再生可能エネルギー、省エネ設備の設置[実施者：県、高浜町、おおい町]

・太陽光発電設備の導入やLED照明の活用から、環境に優しい街づくりを県民にアピール

○交通要所へのEV充電設備設置[実施者：県、高浜町、おおい町]

・EV用充電器の整備によりEV・PHVの普及促進

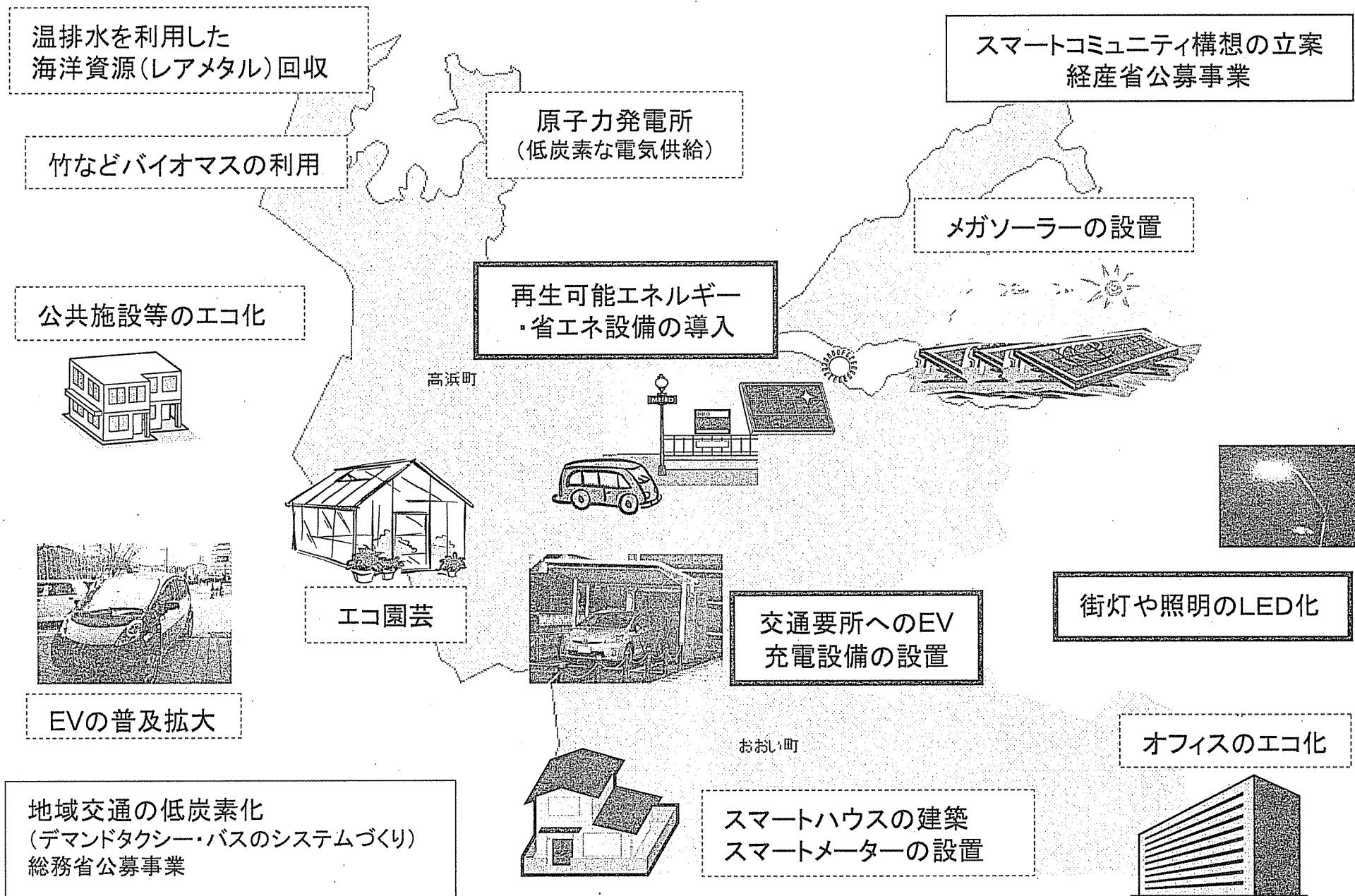
○低炭素型交通システムの構築[実施者：高浜町、地域交通事業者、関西電力等]

・交通弱者に対応したデマンドタクシー・バスの社会実験

実施地域

高浜町、おおい町

福井県嶺南西部における低炭素の街づくり推進事業のイメージ



目的

わかりやすい目標や具体的な活動テーマの設定などにより、地球温暖化ストップ県民運動「LOVE・アース・ふくい」を省エネ活動の「意識づけ」から「実践」へとステップアップ

- エコ宣言募集等の「LOVE・アース・ふくい」県民運動を推進。更なるCO₂排出削減量の増加を図るため、普及啓発だけでなく、実践的な運動推進へ拡大することが必要

施策内容

平成23年度事業費 1,400万円

○「クールライフプロジェクト・チャレンジ！節電大作戦」の実施

- ・クールライフプロジェクトの実施に合わせて、各家庭での活動を促進するため、キャンペーンやコンテストを開催

—重点テーマを設定したキャンペーンの展開

- ・「一家一灯省エネランプ」等のテーマを設け、重点的に展開

—エコアクション・ファミリーコンテスト

- ・電気使用量の削減コンテストを実施、ユニークかつ効果的な取組みを行った家庭を表彰

○温室効果ガス排出量の見える化ステッカーの掲示

- ・温室効果ガス排出量を示すステッカー（電気のつけっぱなしでCO₂〇kg排出）を事業所や家庭に提供

○環境フェアの開催

- ・展示や体験を通して、CO₂削減、3R、自然再生等の県民運動への参加を促進

幅広い世代を対象とした環境教育の実施、指導者の育成

資料 12

目的

地球温暖化防止への理解を深めるため、子供から大人までを対象とした環境教育を実施

施策内容

平成23年度事業費 500万円

学校における環境教育

○自然体験の実施

- ・山、川、里、海、街)
- ・子ども船乗り体験の支援
- ・農業体験の支援 等



○エコワークブック(福井型環境教育学習教材)の活用

- ・平成21年度に、全小中学校へ配付
- ・平成22年度活用校数 261校

○ユネスコスクールへの参加校拡大によるESDの推進

- ・県内参加校 1校 (H22年度現在)
- ・新しい学習指導要領に基づくESD
- ・体験学習を通した問題解決能力の育成

※ESD: Education for Sustainable Development
(持続発展教育)



地域における環境教育

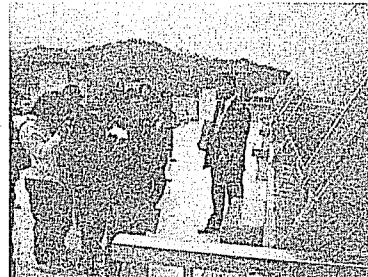
○環境に関する学習会

(生涯学習講座等)の開催

- ・環境アドバイザーの派遣
登録者数 58名
- ・地球温暖化防止活動推進員の派遣
登録者数 56名

○地域・家庭ぐるみの環境保全活動の実施

- ・町内会、公民館、PTA単位 等
- ・わが家・わが社のエコ宣言登録促進
- ・CO2削減のための活動の普及促進



環境教育への支援

○環境教育に関する教員の指導力向上

- ・大学、教育研究所等による研修講座を開催
- ・講師を招聘した校内研修

○指導者育成のための研修

- ・地球温暖化防止活動推進員等向けに、スキルアップ研修を開催

○環境に関する情報提供

- ・学習者に講座・指導者情報を提供
- ・指導者に研修ニーズを提供

